

令和4年5月20日

交通事故概況

令和4年4月中計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況(4月中計上数(確定数))

1 令和4年4月中の交通事故発生状況

区分\内容	4月中		4月末	
		前年比		前年比
発生件数(件)	592	-26	2,766	-29
死者数(人)	10	2	27	-5
傷者数(人)	697	-14	3,253	-24

[過去10年、4月中及び年間死者の推移]

区分\年別	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	過去平均		R4年
											10か年	5か年	
4月中死者	13	10	12	17	14	7	3	11	8	8	10	7	10
4月末死者	44	39	42	43	43	30	36	30	34	32	37	32	27
年間死者	200	184	169	177	158	148	141	152	144	120	159	141	—

都道府県別(4月中)

順位	1	2	4
都道府県名	大阪	千葉	東京
死者数	16	12	10

都道府県別(4月末)

順位	1	2	3	4	5	8
都道府県名	大阪	愛知	千葉	東京	埼玉	北海道
死者数	45	43	39	38	37	27

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 4月中の死亡事故(死者10人)

- **事故類型別**：人対車両が5人(50.0%)、車両単独が3人(30.0%)
- **道路別**：市町村道が6人(60.0%)、道道が2人(20.0%)
- **地形・道路形状別**：市街地直線が4人(40.0%)、市街地交差点が3人(30.0%)
- **発生時間別**：14～16時が3人(30.0%)が00～02時、18～20時までが各々2人(20.0%)
- **第一当事者年齢別**：高齢運転者の死者が4人(40.0%)、50歳代運転者の死者が2人(20.0%)
- **第一当事者違反別**：前方不注意が4人(40.0%)、最高速度、歩行者妨害、操作不適、安全運転その他が各々1人(10.0%) (※1当自転車を除く)
- **死者年齢別**：高齢者の死者が6人(60.0%)、15歳以下、30歳代、50歳代、60～64歳の死者が各々1人(10.0%)

(2) 4月末の死亡事故(死者27人)

- **事故類型別**：
 - ・人対車両が8人29.6% (うち前方不注意3人(37.5%))
 - ・正面衝突が6人22.2% (うち操作不適が4人66.7%)
 - ・車両単独が6人22.2% (うち最高速度、操作不適が各々2人33.3%)
- **道路別**：
 - ・国道が11人40.7% (うち正面衝突が6人54.5%)
 - ・市町村道が9人33.3% (うち人対車両が5人55.6%)
- **地形・道路別**：
 - ・非市街地直線が9人33.3% (うち正面衝突、車両単独が各々4人44.4%)
 - ・市街地直線が7人25.9% (うち人対車両が3人42.9%)
- **発生時間別**：
 - ・10～12時が6人22.2% (うち正面衝突が4人66.7%)
 - ・14～16時が5人18.5% (うち車両単独が3人60.0%)
- **第一当事者年齢別**：
 - ・高齢運転者による死者が11人40.7% (うち人対車両が4人36.4%)
 - ・40歳代運転者による死者が5人18.5% (うち車両単独が2人40.0%)
- **第一当事者違反別**：
 - ・前方不注意が7人25.9%(人対車両が3人42.9%)
 - ・操作不適が6人22.2% (うち正面衝突が4人66.7%)
- **死者年齢別**：
 - ・高齢者の死者が15人55.6% (うち人対車両が6人40.0%)
 - ・40歳代の死者が5人18.5% (うち車両単独が2人40.0%)
- **シートベルト着用者**：
 - 自動車乗車中の死者14人中、シートベルト非着用者は4人(28.6%)であり、このうち2人(運転席に乗車)はシートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

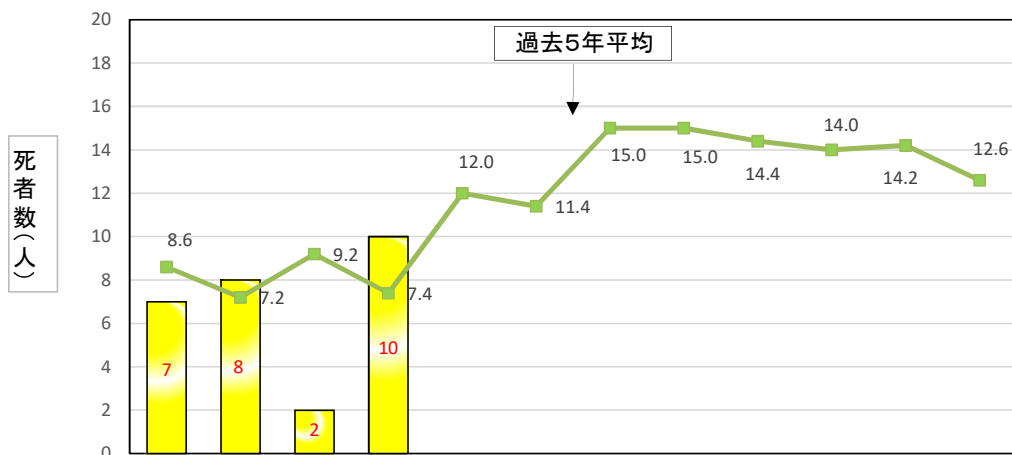
(3) 方面別発生状況

4月中の死者数は札幌方面が7人(70.0%)、旭川方面、釧路方面、北見方面が各々1人(10.0%)となっている。
4月末の死者数は札幌方面が18人(66.7%)、旭川方面が4人(14.8%)、函館方面が3人(11.1%)、釧路方面と北見方面が各々1人(3.7%)となっている。

方面別\区分	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比	方面別\区分	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比		
														4月中	全道
	札幌方面	458	9	7	6	535	19		札幌方面	2,101	105	18	5	2,450	111
	函館方面	49	3		-1	63	6		函館方面	177	-20	3	-2	220	-14
	旭川方面	32	-23	1	-2	38	-23		旭川方面	218	-69	4		271	-80
	釧路方面	38	-13	1	-1	43	-12		釧路方面	189	-55	1	-6	211	-57
	北見方面	15	-2	1		18	-4		北見方面	81	10	1	-2	101	16

(4) 月別発生状況の推移

4月中の死者数は10人で過去5年平均7.4人を上回っている。
4月末の死者数は27人で過去5年平均32.4を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和4年	7	8	2	10									27
年間累計	7	15	17	27									
過去5年平均	8.6	7.2	9.2	7.4	12.0	11.4	15.0	15.0	14.4	14.0	14.2	12.6	141.0
累計平均	8.6	15.8	25.0	32.4	44.4	55.8	70.8	85.8	100.2	114.2	128.4	141.0	

(5) 都道府県別死者

4月中は大阪府が16人で最も多く、次いで千葉県、東京都が各々12人で北海道は10人で4番目となっている。
4月末は大阪府が45人で最も多く、愛知県が43人、千葉県が39人、東京都が38人で北海道は8番目で27人となっている。

区分\都道府県	大阪	千葉	東京	兵庫	北海道	愛知	埼玉	岡山	茨城	栃木	全国
4月中死者数	16	12	12	10	10	9	9	6	6	6	191
ワースト順位	1	2	2	4	4	6	6	8	8	8	-
前年比	2	1	3	-1	2	1	1	0	2	5	-7
増減率(%)	14.3	9.1	33.3	-9.1	25.0	12.5	12.5	0.0	50.0	500.0	-3.5

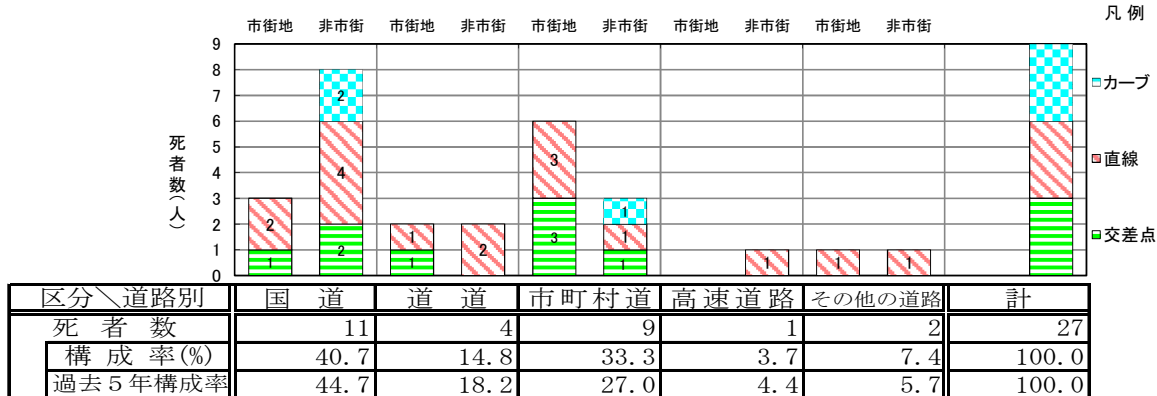
区分\都道府県	大阪	愛知	千葉	東京	埼玉	兵庫	神奈川	北海道	岡山	茨城	全国
4月末死者数	45	43	39	38	37	34	32	27	26	22	753
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-
前年比	-4	14	-5	-6	-4	-3	-6	-5	8	4	-60
増減率(%)	-8.2	48.3	-11.4	-13.6	-9.8	-8.1	-15.8	-15.6	44.4	22.2	-7.4

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

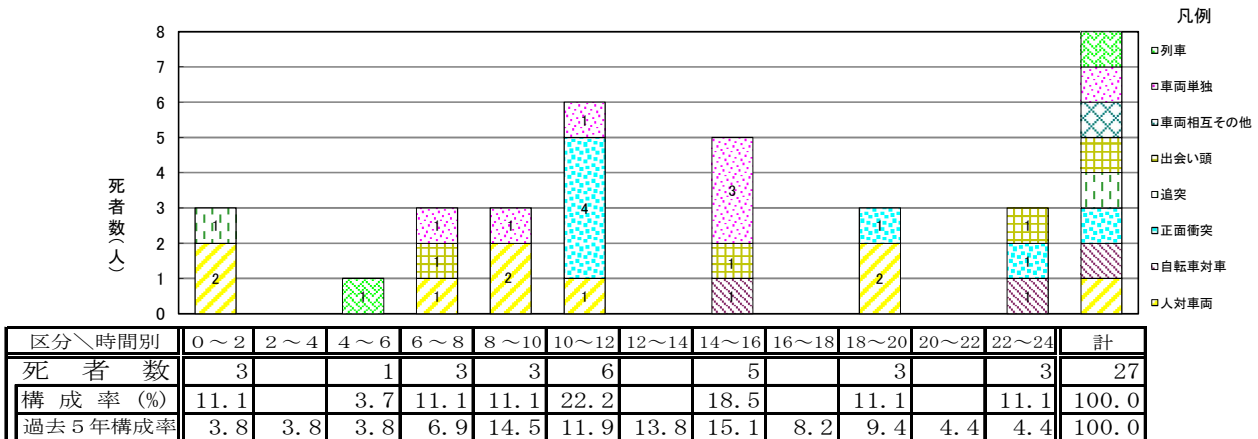
国道が11人(40.7%)で最も多く、次いで市町村道が9人(33.3%)となっている。

- ・ 国道は非市街地直線が4人(36.4%)、市街地直線、非市街地交差点、非市街地カーブが各々2人(18.2%)
- ・ 市町村道は市街地交差点、市街地直線が各々3人(33.3%)となっている。



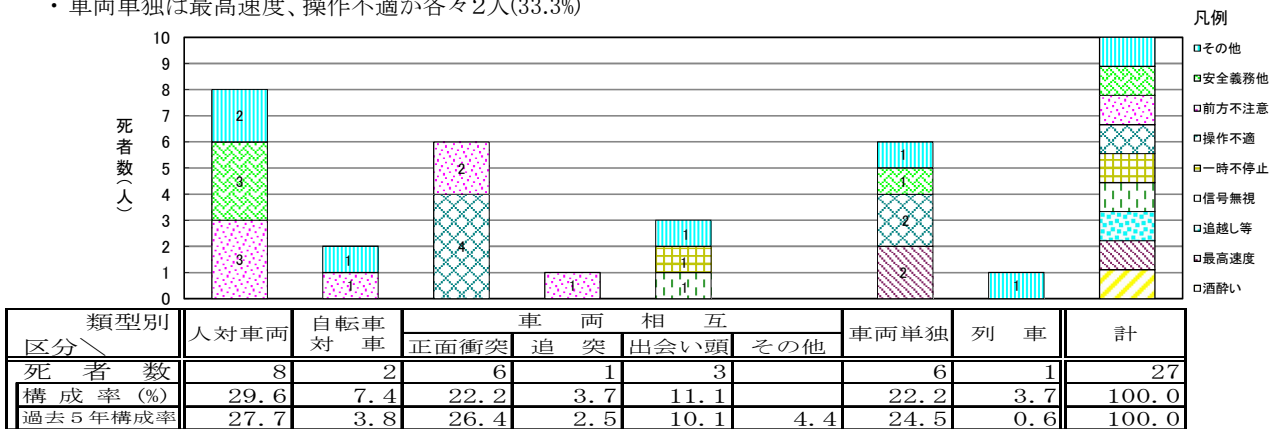
(2) 時間別

- ・ 10～12時が6人(22.2%)で最も多く、次いで14～16時が5人(18.5%)となっている。
- ・ 10～12時は正面衝突が3人(50.0%)、人対車両、車両単独が各々1人(16.7%)
- ・ 14～16時は車両単独が3人(60.0%)、自転車対車、出会い頭が各々1人(20.0%)



(3) 事故類型別

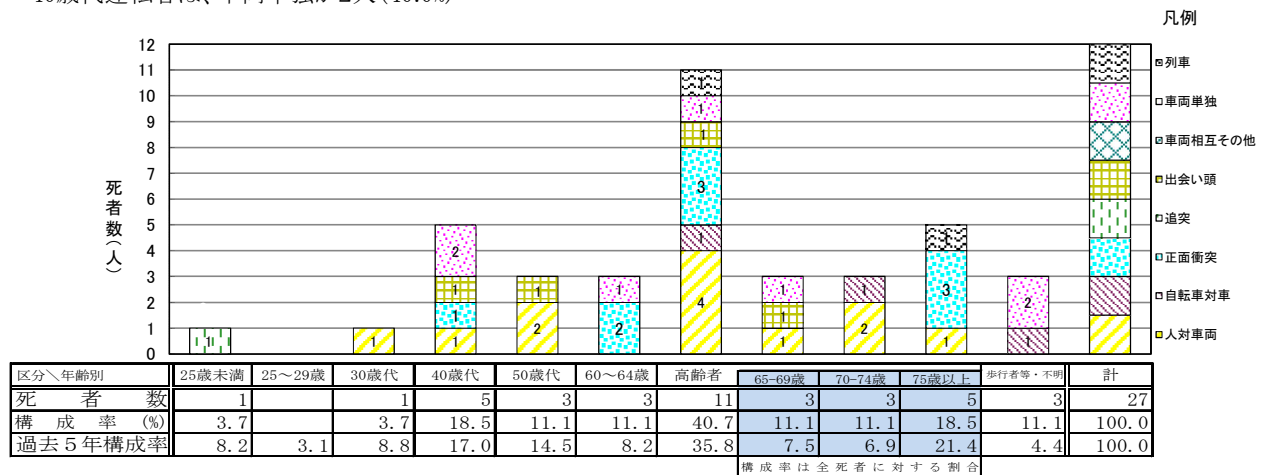
- ・ 人対車両が8人(29.6%)、正面衝突、車両単独が各々6人(22.2%)となっている。
- ・ 人対車両は、前方不注意が3人(37.5%)
- ・ 正面衝突は、操作不適が4人(66.7%)
- ・ 車両単独は最高速度、操作不適が各々2人(33.3%)



(4) 第一当事者の年齢層別

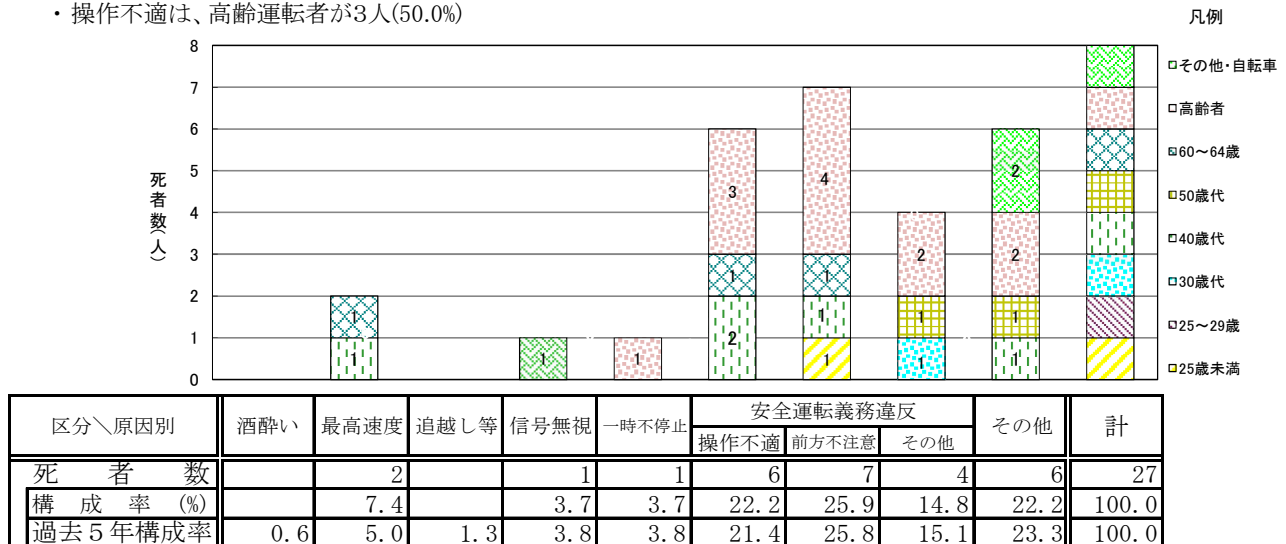
高齢運転者によるものが11人(40.7%)、40歳代運転者が5人(18.5%)となっている。

- ・ 高齢運転者は、人対車両が4人(36.4%)、正面衝突が3人(27.3%)
- ・ 40歳代運転者は、車両単独が2人(40.0%)



(5) 第一当事者の違反(原因)別

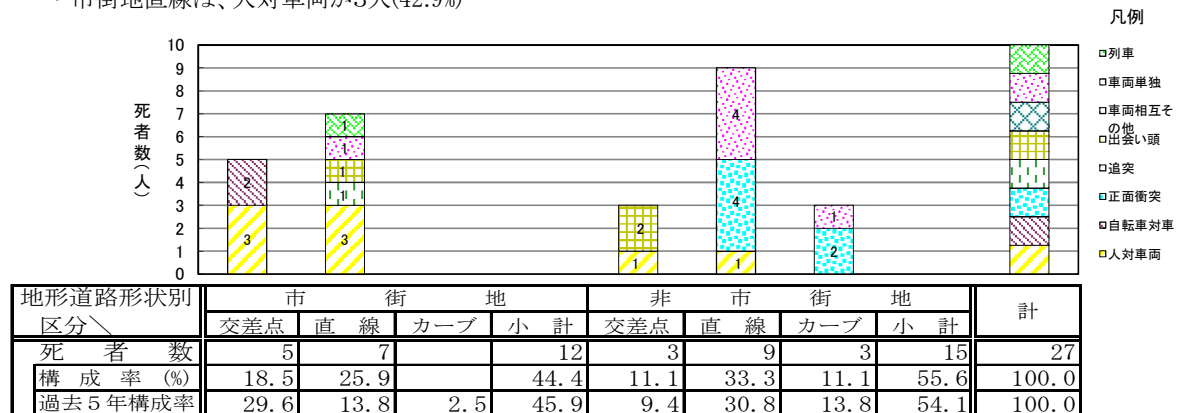
- ・ 前方不注意によるものが7人(25.9%)、操作不適が6人(22.2%)
- ・ 前方不注意は、高齢運転者が4人(57.1%)
- ・ 操作不適は、高齢運転者が3人(50.0%)



(6) 地形・道路形状別

非市街地直線が9人(33.3%)で、市街地直線が7人(25.9%)。

- ・ 非市街地直線は、正面衝突、車両単独が各々4人(44.4%)
- ・ 市街地直線は、人対車両が3人(42.9%)

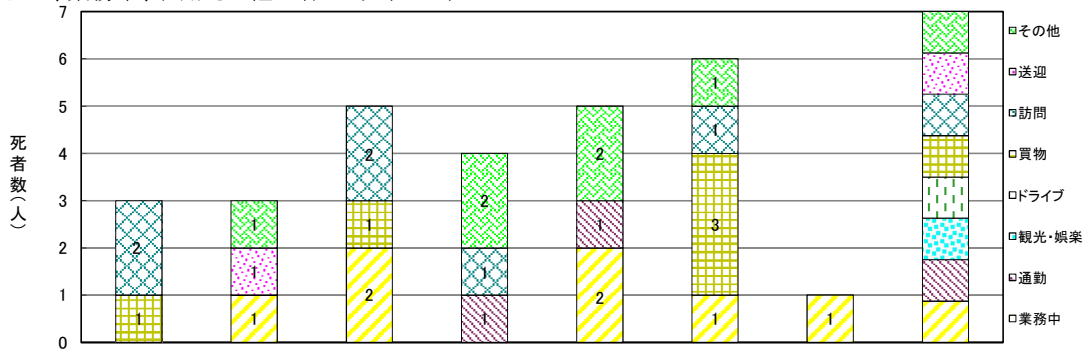


(7) 曜日別

金曜日が6人(22.2%)、火曜日、木曜日が各々5人(18.5%)となっている。

- ・ 金曜日は買物が3人(50.0%)
- ・ 火曜日は、業務中、私用訪問が各々2人(40.0%)
- ・ 木曜日は、業務中、私用その他が各々2人(40.0%)

凡例



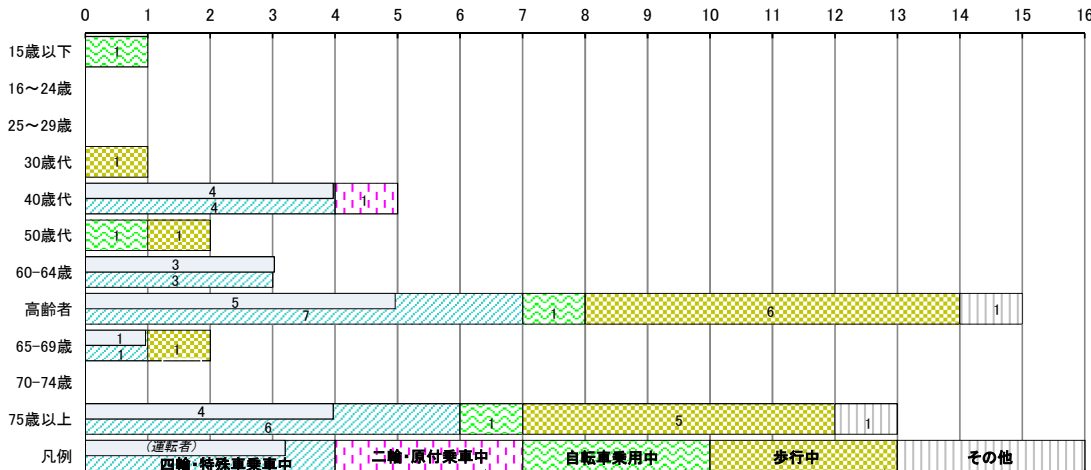
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	3	3	5	4	5	6	1	27
構成率 (%)	11.1	11.1	18.5	14.8	18.5	22.2	3.7	100.0
過去5年構成率	11.3	11.3	14.5	13.8	13.2	22.0	13.8	100.0

(8) 状態別・年齢層別

四輪乗車中が14人(51.9%)で最も多く、歩行中が8人(29.6%)となっている。

- ・ 四輪乗車中は、高齢運転者が7人(50.0%)、40歳代運転者が4人(28.6%)
- ・ 歩行中は高齢者が6人(75.0%)
- ・ 年齢層別では、高齢者が15人(55.6%)で、うち75歳以上が13人(86.7%)となっている。

死者数(人)



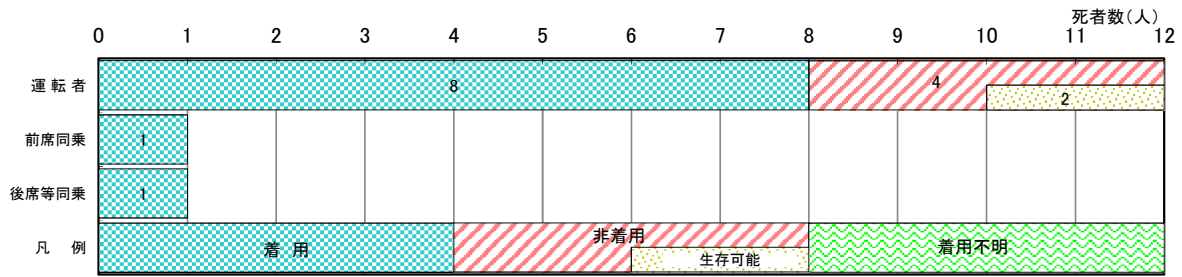
状態別 年齢層別		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (原付を含む)	自転車 乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下	死者数			1			1	3.7	1.3
16~24歳	死者数								5.7
25~29歳	死者数								1.9
30歳代	死者数				1		1	3.7	4.4
40歳代	死者数	4	1				5	18.5	9.4
50歳代	死者数			1	1		2	7.4	11.3
60~64歳	死者数	3					3	11.1	5.7
高齢者	死者数	7		1	6	1	15	55.6	60.4
65~69歳	死者数	1			1		2	7.4	11.3
70~74歳	死者数								7.5
75歳以上	死者数	6		1	5	1	13	48.1	41.5
計	死者数	14	1	3	8	1	27	100.0	
	構成率	51.9	3.7	11.1	29.6	3.7	100.0	—	—
	過去5年構成率	61.0	4.4	4.4	28.9	1.3	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者14人中、シートベルト非着用者は4人(28.6%)となっている。
非着用者2人(運転席)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中等	着用				非着用				着用不明
		計	運転者	同乗者		計	運転者	同乗者(助手席)	同乗者(後部席)	
令和4年	14	10	8	1	1	4	4	2		
構成率(%)	100.0	71.4	80.0	10.0	10.0	28.6	100.0	50.0		

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、40歳代が2人(50.0%)、60～64歳、高齢者が各々1人(25.0%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルム着用				2		2	6	1		5		10
構成率(%)				20.0		20.0	60.0	10.0		50.0		100.0
ヘルム非着用				2		1	1			1		4
構成率(%)				50.0		25.0	25.0			25.0		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者4人の人身損傷加害部位をみると、車外放出、車外他、座席、その他が各々1人となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
ヘルム着用	1		1					2	2	3		9
構成率(%)	11.1		11.1					22.2	22.2	33.3		100.0
ヘルム非着用	1	1							1		1	4
構成率(%)	25.0	25.0							25.0		25.0	100.0
運転者	1	1							1		1	4
構成率(%)	25.0	25.0							25.0		25.0	100.0
同乗者												
構成率(%)												

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。